



あと一步の向上に向けた取組

函館市立旭岡小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ① 「読み書き計算」の基礎・基本の定着のための朝学習タイムの実施。
- ② 学習習慣確立のための「家庭学習の手引き」を配布する。（予習・授業・復習サイクルの定着に向けて）
- ③ 個別学習支援教室と長期休業中の登校学習の実施

2 取組の概要

- ① について、隔週水曜日の朝（8：30～8：45）を『朝学習タイム』と定め、国語、算数の基礎的・基本的内容の定着を図る時間を設けた。国語・算数の年間指導計画と関連させ、この『朝学習タイム』の年間指導計画も作成し、本校の教育課程の中にも位置づけている。いわゆる朝自習ではなく、担任やT T教師がついて指導し、15分間国語や算数の基礎的・基本的内容の復習をする。
- ② 「家庭学習の手引き1」の配布半年後、家庭学習調査（学校から発信している教育情報の使われ方や家庭学習の取り組み方などの調査）を実施し、その結果を受け、予習・授業・復習サイクルの定着に向け、さらに具体的な家庭学習の取り組み方を提示した「家庭学習の手引き2」を配布し、基礎基本の定着に向けた家庭学習の取り組みの充実を図った。また、学校通信を通して、さらに家庭学習の習慣化の参考となるような教育情報を発信している。併せて、家庭学習の習慣化に向けた各学年・学級の取り組みについて職員会議で交流し合い、それらを参考に各学年学級からの家庭学習への支援の一層の充実を図った。
- ③ 個別学習支援教室として「ステップルーム」を設置し、個別指導により、一斉指導では学習理解が難しい児童の学習意欲の高揚と基礎学力の向上を図っている。また、長期休業中の登校学習の実施した。冬季休業中は全校で実施したほか、2年生は学年でも2日間、4年生は選択コース別に2日間設けた。

3 成果（○）と課題（●）

- 平成23年度全国学力・学習状況調査（6年生）では、全道と比較して「知識」と「活用」とともに良好な状況であった。CRT学力検査（4年生）の際に実施した学習についてのアンケートでは、意欲的に学習し、学習が楽しいと感じている児童が多いことがわかった。
- 学校組織として統一した家庭学習の取りまとめ方を示していく一方で、家庭での生活習慣を見直し改善するよう働きかけていく必要がある。
- さらに知識・技能の確実な定着を維持させながら、それらの力を土台に思考力・判断力・表現力の向上を図りたい。